

# 道

2022年11月1日  
(第87号)



小田川  
(真備町箭田・箭田橋より  
福松橋方面を望む)

〈道〉通信が簡易書留で返送されてきた。送るのを止めて。あなたとは縁を切る。そんな意味の手紙が同封されていた。何故。僕が言ったこと、書いたこと、したこと、しなかったことが原因だろうか。僕の存在が煩わしいか。書留郵便に強い意志を感じる。彼は律儀で丁寧で几帳面な人だ。それで助けられもした。僕はというと、かなりいい加減で、気が利かない、やることは遅い、メールの返事などもよく忘れる。さらに、普通に話しているつもりでも刺があるなどと言われる。そんなことが理由の絶縁状かどうかは分からない。はつきりしていることは彼が大きく傷ついたということ。僕が切り裂いたのだ。落ち込む。お別れだ。▼「思い返せば、上手に別れた事がない」。尾崎世界観さんの言葉が『ベスト・エッセイ 2022』に出てくる。僕もたくさん思い当たる。家族との別れ。あの日の子どもの目は今も僕から離れない。逃げるように去った職場や町は一つや二つではない。あの人は今どうしている。好きだった女性の顔が浮かんでは消える。「学校」の別れ、〈ケア〉の会での別れ、どれも、心残り。▼別れても心の中に生き続ける人がいる。少なくとも僕の中では一緒に生きていく。「上手に」別れてないから心に居座ることもあろう。忘れてはいけない人、忘れられない人がいる。縁は続く。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林 道 也



この〈道〉通信は、「LINE 公式アカウント」でも配信します。

下の URL、または、左の QR コードから「友だち追加」していただければ、あなたの「LINE」に届きます。

⇒ <https://lin.ee/zCG7Iyp>